

全身使い体力増進

小学生が自分の身長を越える高さまで軽々と跳躍し、開脚を決める。周囲の子どもたちも楽しげな表情を見せる。

1986年に発足した県北唯一のトランポリン愛好会。地元の登米市石越町を

する。難しいルールがなく、年齢を問わず始められる手軽さも魅力だ。

小学生が多いこともあり、毎回の練習では各自が子ども向け検定試験「パッチテスト」を目標に、さまざま

みんなの力で

いいいい汗

はじめ南三陸町、関市花泉町など各地から会員39人を集める。多くは小学生だが、年齢層は3歳から40歳までと幅広い。

会長の佐藤隆さん(四七)は

「全身で躍動するため腹筋、背筋がバランス良く鍛えられる。あらゆる運動の基礎体力がつく」と効用を説明

検定目標に技を磨く

くて大変」と話す。

「楽しく」も大事に

「楽しく飽きないこと」

も大事な方針の一つで、技術練習の後はトランポリンを使った遊びを楽しむ。跳

ねながら体全体でグーチロキパーを表すじゃんけんや、ジャンプの滞空時間を競うゲームなど、子どもたちが最も盛り上がる時間でもある。石越小6年の渡辺

毎週水曜日午後7時半から午後9時まで石越体育館で練習。年会費は1家族ごと3000円。石越公民館で、いしこしENJOYスポーツクラブの登録が必要。連絡先は高橋さん方0228(34)2442。

奈緒さん(一)は「ジャンプ派。佐藤さんは「愛好会でも楽しいけど、友達と騒げるのが一番楽しい」と笑顔を見せる。ほかの競技を楽しみ、将来またトランポリンに戻って

県内の中学、高校に競技部がないため、小学校卒業後も続ける子どもは少数



トランポリンで楽しげに跳躍を繰り返す子どもたち

石越町JUMP(トランポリン)

愛好会(登米市)